学校法人常盤木学園
令和８年度学校経営・運営ビジョン

創立の精神 「自由と芸術」

今年度より校長職を拝命いたしました小平 崇(おだいら たかし)と申します。どうぞよろしくお願い致します。全国の私立学校は創立者が掲げた建学の精神を継承し、特色ある教育活動を通してその具現化に努めています。

本校の創立の精神は、「自由と芸術」です。主体的な学びを推進しながら、多様な表現力を身に付けることができます。また、自由な校風を醸成し、個性と創造性を磨きます。

常盤木学園という学び舎で、変化の激しい現代社会やその先の将来において、様々な価値観を共有・共感できる、柔軟性のある人間に育てます。社会の変化に対応し、課題に向き合い、解決できる能力を身に付けさせます。

スクールポリシー
創立の精神「自由と芸術」の具現化で人間力を高めます

1 「自由」の意義を知り社会で活躍できる人材を育成します。

(1)自己の人生を主体的に見出だす力の育成
自己の言動に責任を持ち、将来の人生を描けることが「自由」である。

(2)コミュニケーションスキルの育成
助け合い、協力することで信頼関係を築き、共生することで「自由」がある。

(3)共感的人間力の育成
「自由」とは、自己を尊重してくれる家族や仲間がいるからである。

2 「芸術」を通して崇高な倫理観のある人材を育成します。

(1)「文武両道」を奨励し、豊かな人間性を育成
学習、部活動、音楽活動に精励することで、貴重な経験を積むことが「芸術」である。

(2)感性を研ぎ、未来を描く力を育成
思考、表現することを通して、自分らしい答えを描き出すことが「芸術」である。

(3)多くの感動を与えることのできる人材の育成
人生の楽しさや生きる喜びを体験し、人生を豊かにすることが「芸術」である。

今年度の重点目標と重点実践事項

1 自己有効感を育む学校生活

(1)多様な選択を支援する各種教育プログラムの高度化
(2)生徒主体の学校自治の推進
(3)「挑戦とリフレクション」を促す対話の強化

2 心理的安全性に基づいた「協働の場」の創出

(1)「チェックイン・チェックアウト」の日常化(自分の「状態」を可視化し共有する)の実戦
(2)対話と議論の実践的スキル習得の支援
(3)各種ガイドラインに対する教員研修の充実

3 「持続可能でオープンな教育環境」の構築

(1)地域社会・企業と連携した学習の場の充実
(2)創造性を刺激する学びの空間の整備と生徒支援
(3)生徒自身が、自分の学習データを分析・活用する「ラーニング・エンジニアリング」の実践

4 挑戦を力に変える『進化する組織』の構築

(1)全職員が目標にコミットして業務推進に邁進する組織マネジメントの確立
(2)将来を見据えた生徒募集策と収益の複線化を企画実行
(3)教職員の学びに対する積極的投資

創立の精神「自由と芸術」の具現化で人間力を高める教育の実践